



	げになる方法に変更している。丸太ボイラー、薪ボイラーの使用で公共施設のすべてをまかなっている。住民の出す原木代金は、オニ券（地域内商品券）と現金の半々で地域経済への効果として、地域内に留保されるお金が 1,300 万円とのことである。一番聞きたかった地方創生 ICO については、金融庁からストップがかかっているとのことで、聞けなかった。		
	③三好市議長の歓迎あいさつを頂き研修をする。平成 20 年に集落の実態調査を職員が行ったそうである。集落支援対策検討委員会を設置し平成 22 年一年間をかけて委員会を実施。集落支援包括事業で、移動販売等事業運営費、車両購入費、侵入防護柵、私道の開設・改良・舗装補助、集会所の修繕・新築、生活用水の確保事業、平成 26 年度実績で 213 件 1,400 万円である。本町の支援金額よりかなり低額である。休憩をはさんで、妖怪村村議会議員下岡昭一氏より、四国の秘境山城。大歩危妖怪村の活動について研修する。地域にあるものを調べ価値を見出す。過疎地は資源が豊富。過疎地は住民のせいではない。「何ちやない、もうだめ」を「何でもあ		
	る、やらにゃあいかん」と変えていかないといけないと話を頂いた。大変楽しく		
	研修をさせていただいた。		
	な し		
	反 対 意 見		
	な し		
	報 告 日		
	令和元年 7 月 29 日（月）		
	委員長署名		
槇野 章			